

祖父母の住まいに若夫婦家族が同居するための改修。LDKに現した大黒柱と梁を、アール天井でおおらかに包んだ空間は、これから一緒に暮らす家族を力強く優しく見守っているようだ。温熱環境向上のための格子網戸・障子も、凛とした表情を生み出している。

リフォーム前後の写真



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

敷地は広島県と島根県の県境に位置し、田園と山並みが広がるのどかな場所である。内陸部特有のも夏厚く、冬は寒く、積雪の多い環境である。祖父母の住まいに、若夫婦家族が同居することをきっかけで改修計画がはじまった。

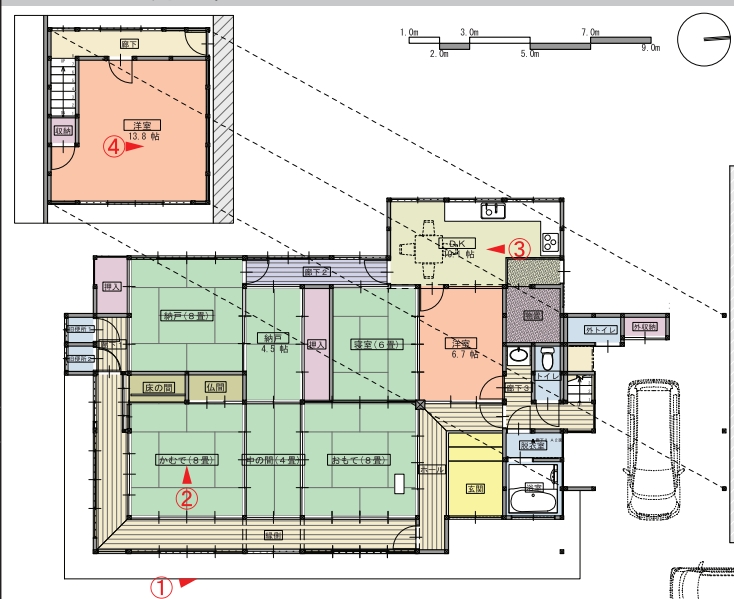
2世帯住宅となるが、親子良好な関係柄でキッチン、浴室は1か所で計画した。それでも、同居のお互いの気遣い軽減のため、共用のスペースのLDK、その他スペースに、それぞれ思いの場所に身を置ける余白のスペースをちりばめた計画とした。

玄関の位置を見直し、LDKを介して各個室にアクセスできる動線計画を行った。共用部であるLDKは、単純に広々とした面積だけでなく、小さな居場所(ソファ、カウンター、ダイニング)を設けた。横架材と大黒柱を共有のスペース・生活の中に取り入れ、昔の面影を残しつつ、和風建築の小屋組の懐を生かして、円形天井でLDK全体を包み、新旧の混在した設えとした。東側の窓は、道路からの視線を配慮するため、格子網戸を、温熱も考慮し、障子を設け、多重建具とした。

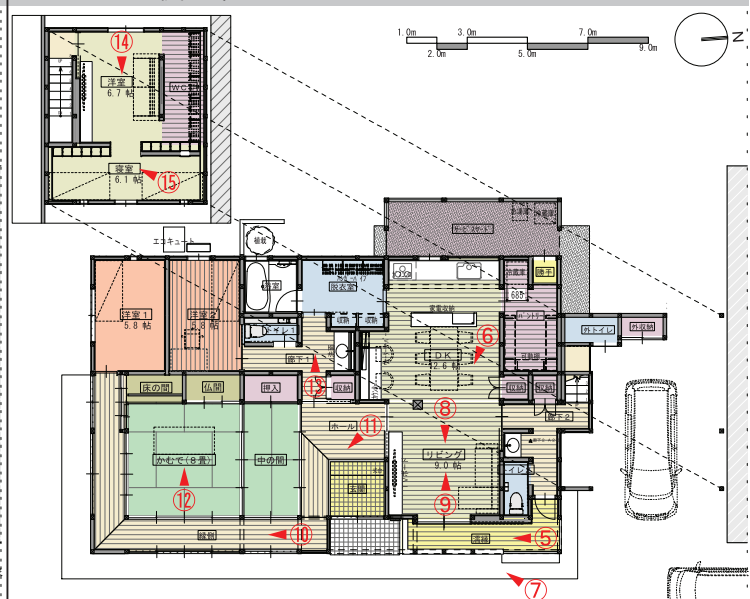
性能向上の特性	特に配慮した事項	lw 値、ls 値
二世帯化に伴う生活動線・機能の再構築、バリアフリー性能、温熱性能、耐震性能	かむで(和室)・床の間・仏間を残し、若夫婦世帯と祖父母のそれぞれの個室と、家族団らんができる居心地の良い共用の居場所(LDK)の配置計画	リフォーム前 リフォーム後

データ					
所在地	島根県邑智郡邑南町	新築竣工年	1977 年	築後年数	47 年
該当工事床面積	230.58㎡	総工事床面積	230.58㎡	該当部分工事費	3,500 万円
施工期間	310 日間	総工事費	3,500 万円		
居住者構成	65 歳以上： 2 人 / 40～64 歳： 2 人 / 15～39 歳： 人 / 14 歳以下： 2 人 / ペット 匹				

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □エクステリア/ □マシヨ共用部分/ □その他